

2学期始業式（8月27日）

皆さんおはようございます。7月末に山形県、秋田県を中心に東北の日本海側で、線状降水帯が発生するなど大雨となり、河川の氾濫や土砂災害、田畑の冠水が相次ぎ甚大な被害をもたらしました。それにより亡くなられた方のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。そして一日も早い復興をお祈りいたします。また、連日、記録的な暑さに見舞われています。これまでも暑い夏はありましたが、2年続けて記録破りの夏は過去例がないそうです。

皆さんはこの夏休み如何過ごしましたか。本日皆さんが元気に登校していることにまずはほっとしています。この夏パリオリンピックが開催され、連日、日本選手の熱戦が繰り広げられ、多くの感動をもらいました。また、本校の生徒もインターハイ、総文祭、そば打ち選手権大会等全国を舞台に頑張ってくれました。特にカヌー競技では男子カナディアンフォアで日本一に輝く素晴らしい活躍を見せてくれました。農業クラブの各種大会でも活躍し、岩手県で開催される全国大会に多くの生徒が出場を決めてくれました。全国大会での入賞を祈っています。夏休み前の終業式の際にこの休みを有意義なものにしてくださいとお願いしました。今後の皆さんのさらなる飛躍を期待しています。

さて、3年生の皆さんは就職や進学受験に向け夏休み中も準備を進めてきました。就職希望者への集中面接指導も4日から始まります。そうした中、3年生のみならず、1、2年生の皆さんにも自分の進路について考えてもらいたいと思います。

そこで、私からは『社会人基礎力』について話したいと思います。そして生徒の皆さんには、社会人になる心構えとして高校生の中に何ができるのか自ら考え、学校生活を送っていただきたいです。

「社会人基礎力」とは、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力と12の能力要素から構成されており、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」として、経済産業省が提唱しました。

まず1つ目の「前に踏み出す力」とは、今いる場所から一歩踏み出し、失敗しても諦めない粘り強さで取り組む力として、「主体性」、「働きかけ力」、「実行力」が挙げられます。「主体性」とは、物事に自ら進んで取り組む力です。常に当事者としての意識をもち、誰かの指図を待つのではなく、自らやるべきことを見つけ積極的に行動してください。「働きかけ力」とは、他人に働きかけ、巻き込んでいく力です。仕事をする上で周囲と協力し合い、周囲を巻き込み協力してもらうことで、自身に足りない部分を自覚したり、できないことを補ったりできます。「実行力」は、目的を設定し確実に実行する力です。明確な目的意識をもってゴールを目指すことで実行力は養われていきます。

そして2つ目の「考え抜く力」とは、疑問をもち、自分自身で深く考え抜く力として、「課題発見力」、「計画力」、「創造力」が挙げられます。「課題発見力」とは、現状を分析し、目的や課題を明らかにする力です。何も考えず与えられた仕事をこなすのではなく、常に疑問をもち続けることで、隠れた問題点を発見することへとつながります。「計画力」とは、課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備する力です。あらかじめ問題が起こったときの対処を考えておくことと、なにかあった際に方向転換を速やかにできるように準備することが重要となります。「創造力」とは、新しい価値を生み出す力です。固定概念にとらわれず、新しい視点や新しい感覚でものごとを捉え、生み出す力をもつことは、発想の転換となり問題解決への近道になる可能性があります。

最後に3つ目の「チームで働く力」とは、多様な人々と一緒に、目標達成に向けて協力する力です。具体的には、自分の意見をわかりやすく伝える力である「発信力」、相手の意見を丁寧に聞く力である「傾聴力」、意見の違いや立場の違いを理解する力である「柔軟性」、自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する能力である「状況把握力」、社会のルールや人との約束を守る力である「規律性」、ストレスの発生源に対応する力である「ストレスコントロール力」が挙げられます。

口頭だけでは、うまく伝わらないと思いますので、この「社会人基礎力」については、わかりやすくまとめておきました。本校のホームページのトップ画面にある「校長からのメッセージ」というバナーをクリックすれば見ることができますので是非とも参考にしてください。

この2学期には、大きな学校行事として9月に体育祭、11月に農業祭が開催されます。これらの行事を皆さんにとって思い出に残るものとしてほしいと願っています。そのためにも先ほど話した力を発揮する実践の場としてほしいと思います。